

美術博物館の催し

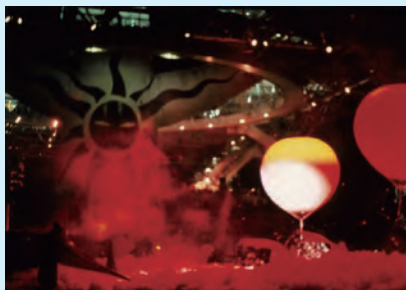


ホームページ

「具体美術協会と芦屋、その後」

1954年に芦屋で結成された「具体美術協会」の60年代後半からの活動のほか、1970年代に芦屋で開催された「芦屋川国際ビエンナーレ」「ルナ・フェスティバル」の資料を紹介し、芦屋の美術を振り返ります。

■期間 7月5日～8月31日



日本万国博覧会「具体美術まつり」フィナーレ1970年

「隙あらば猫 町田尚子絵本原画展」ピアノワークショップ みんなで弾こう『ねこふんじゃった』



王梨恵氏・具夏子氏

当館のピアノ・ベーゼンドルファーで個性あふれる「ねこふんじゃった」を演奏しませんか。

■日時 6月8日(日)午後2時～3時30分

■会場 ホール■対象 年齢不問(小学校低学年以下・付き添いが必要な方は要同伴者)先着20人〈要予約〉

■出演 具夏子(ピアノ・鍵盤ハーモニカ)・王梨恵(ピアノ)・さくら(ナレーター)・I LOVE ASHIYA(企画・協力)■料金 「隙あらば猫展」要観覧料■申し込み ～6月1日に氏名・電話番号(こどもは年齢)をEメール(☎ashiya_event@shopro.co.jp)か電話で。

展覧会関連イベント

講演会「『具体』とアメリカ抽象表現主義」

戦後アメリカの抽象表現主義芸術は、「具体美術協会」(具体)の初期の展開に大きな刺激を与えた。抽象表現主義研究者の立場から、1950年代における具体と抽象表現主義の関係性についての講演。

■日時 7月6日(日)午後2時～3時30分■会場 講義室■定員 80人■講師 大島徹也氏

(多摩美術大学芸術学科教授・多摩美術大学美術館館長)■料金 要観覧料■申し込み 直接会場へ



大島徹也氏

展覧会関連イベント ワークショップ

元永定正さんの“流し”の絵画を体験しよう

本展出品作品の元永定正の《作品》(1962年)を鑑賞した後、作者の意図と偶然性が同居する画面作りを体験します。

■日時 7月26日(土)午後1時～4時■会場 体験学習室■対象 小学生以上・20人〈要予約〉

■講師 川原百合恵(当館学芸員)■料金 500円(材料費)+要観覧料■持ち物 汚れてもよい服装■申し込み 7月15日(火)までに氏名・住所・電話番号をEメールか電話で。(応募多数抽選)

元永定正《作品》1962年
(C)モトナガ資料研究室

【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432 / ☎38-5434 / ✉ashiya-bihaku@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般900(720)円、大高生500(400)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

谷崎潤一郎記念館の催し



ホームページ

第39回残月祭 柴崎友香 講演会 「話し続けるための言葉」

柴崎友香氏
撮影：露木聡子氏

2024年に谷崎潤一郎賞を受賞した柴崎友香氏が、谷崎の魅力と関西の文化、風土について思いをめぐらせながら、文学や自身の創作活動を語ります。

■日時 7月20日(日)午後2時～3時30分

■会場 ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール■定員 600人■料金 2,000円(前売り1,800円)■申し込み【前売り券取り扱い】谷崎潤一郎記念館・大利昭文堂・Belle Potあしや(市民センター2階)で販売、または、氏名・住所・電話番号・参加人数を電話・ファクス・Eメールで。振込方法をお知らせし、入金確認後、前売券を発送。

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852 / ☎38-3244 / ✉ashiya-tanizaki@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

夏の特設展「オン・ステージ ～舞台の上の谷崎作品～」

さまざまに脚色される文学作品ですが、ナマの舞台の迫力は格別。ステージの上で多様に開示された、谷崎文学の世界を紹介します。

■期間 6月14日～9月7日

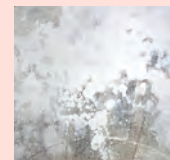


舞台「台所太平記」プログラム(2015年明治座)

ロビー展示 田中達也 日本画展「響存する視聴」

鉄の錆びや金属の輝きを作品に反映させた日本画展

■期間 6月14日～7月27日



展示作品「細雪」

【ワークショップ】6月22日(日) 午後1時～3時/15人〈要予約〉/1,500円(観覧料込) /色紙を入れる袋。下絵用にお好きな柄があればご持参ください。

【ギャラリートーク】6月29日(日) 午後2時～ /要観覧料 /ゲスト：福田季生氏(日本画家)



ワークショップ見本「あさがお」

市内の文化財案内 Vol. 3

芦屋市指定文化財 芦屋神社境内古墳

芦屋神社(東芦屋町)の境内にある古墳時代後期(6世紀末～7世紀初頭)に造られた古墳で、現在は、弁天岩(芦屋川上流)で祀られていた水神の社となっています。径19.0m、高さ3.5mの円墳で、横穴式石室(棺を納めるための石を組んで造られた部屋)は、全長10.4m、高さ2.1mです。

芦屋神社の周辺には、笠ヶ塚群集墳といって多くの古墳がありましたが、現在は芦屋神社境内古墳しか残っていません。また、横穴式石室は石材の転用や盗掘などで後世に壊されてしまうことも多いですが、芦屋神社境内古墳は市内で唯一、完全な姿で現在まで守り伝えられているものです。



古墳の前には「水神社」の石碑が建てられている。

問い合わせ
国際文化推進課
☎ 38-2115



ホームページ